



西桂町



Nishikatsura

VOL.
86

議会だより



26年度の決算は 2～3

- 小林町長からの報告 4～5
- 各会計決算 6～9
- 補正予算、条例等の委員会審査内容 10～11
- 一般質問（5名の議員が町政を問う） 12～16
- 下暮地 ^{すず} ^ね 鈴の音会（いきいき交流会紹介）... 17

9月19日小学校秋季大運動会

努力・協力・全力・力いっぱい
西桂っ子

事業の選択と集中を行い 行財政運営に努めることを要望

一般会計賛成討論 井上秀樹 議員



平成26年度一般会計、歳入歳出決算状況は、前年度と比較すると3433万円の増加となっております。

町税、公営住宅使用料等、徴収を必要とする費目の収入未済額は一般会計全体で4063万円と減少傾向が続いておりますが依然として高額となっている。町税等においては、負担の公平・公正及び財源確保の見地から徴収事務、滞納整理の手法や庁内関係部署の連携強化をより一層密にし、情報の共有並びに山梨県地方税滞納整理推進機構等の積極的活用により収入未済額の縮減に向け不断の努力をお願いしたい。

また、中長期的な視点にたち自主財源創出の努力を強化していくための施策の推進に取組まれた。

歳出決算状況は、前年度と比較すると3215万円の増加となっております。厳しい財政状況のなか、有効な補助金等を活

用しながら事業を執行されている。

しかし、歳出における経常収支比率は、86・6%と対前年度比0・2ポイント低下している。

依然として適正水準である80%を上回っており、財政構造が硬直化が進んでいるので、行財政運営全般にわたる改革改善に積極的に取り組み経常経費の抑制及び事業の厳選、費用対効果の検証及び効率化に徹し、経済動向に即応した機能的、弾力的な運営をお願いしたい。

今後も、町民の福祉の向上のため、限られた予算の中で職員一丸となつて、社会・経済の構造変化に柔軟に対応した事業の選択と集中を行い、行財政運営に努めていただくことを要望し、賛成討論とします。

負担の公平、公正及び財源確保の見地から 収入未済額の縮減に向け不断の努力を

監査委員報告 安富英彦 代表監査委員



審査の結果、各会計の決算書及び付属書は、関係法令に準拠して作成され、計数は正確であると認められた。

基金運用状況は、適正であると認められました。

不安定な経済情勢や人口減少問題を抱えている中で今後ますます財源確保の厳しさが予測されます。負担の公平・公正及び財源確保の見地から徴収事務、滞納整理の手法や庁内関係部署の連携強化を密にし、情報の共有並びに、関係機関の活用により収入未済額の縮減に向け不断の努力を続けること。

歳出決算状況は、現状、財政構造は硬直化の傾向にある。

行財政運営全般にわたる改革改善に積極的に取り組み、経常経費の抑制及び事業の厳選、費用対効果の検証及び効率化に徹し、経済動向に即応した機能的・弾力的な運営にも配慮しつつ、節度ある財政運営に全庁体制で

一層努めること。

国民健康保険特別会計は、納税者との不公平感が生じないよう滞納者への督促等を実施してください。

介護保険特別会計は、介護保険料の収入未済額については、一般会計歳入と同様であり、健全な運営に努められたい。

簡易水道特別会計は、漏水調査を行い、漏水個所に対して必要な工事を行ったことが原因とされるが、計画的に漏水対策を行っていることは評価でき、引き続き適正な事業を執行に努められたい。

下水道特別会計は、地域の環境改善のPRを積極的に行い住民の理解を得るよう努力願いたい。

今後の財政運営は、自主財源の創出を図り、社会・経済の構造変化に柔軟に対応した事業の選択と集中を行い、地域の特徴を生かした「活力あるまちづくり」を推進するよう望みます。

防災事業推進を重点的に実施 (防災備蓄倉庫・集合地看板設置など)

物件費

10万193円
(4億5538万円)



一般事務経費、臨時職員賃金、業務委託費等

その他

6万9391円
(3億1538万円)

繰出金、維持補修費、
積立金、出資金・貸付金

人件費

8万8814円
(4億366万円)



主に常勤の職員の給与
町長、議員及び
各種委員等の報酬

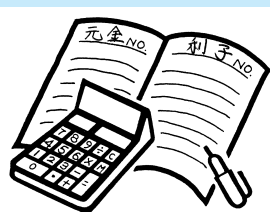
平成26年度 一般会計決算

**総額
43万6893円**
(19億8568万円)



公債費

4万5056円
(2億478万円)



毎年度、償還すべき町債
(借金)の元金、利息

投資的経費

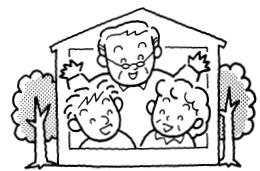
3万1743円
(1億4427万円)



建物の建設、
道水路整備、
大型備品の購入

扶助費

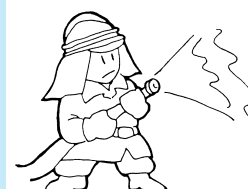
4万6658円
(2億1206万円)



施設措置費、各種福祉手当
医療費手当等

補助費等

5万5038円
(2億5015万円)



他市町村との広域業務
負担、各種団体への
補助等

※ () 内は平成26年度決算額です。

※一人当たり額はH27年4月1日現在人口4545人で割った額

■ **基金(貯金) 一人あたり残高 38万7480円**
〔17億6110万円〕

■ **地方債(借金) 一人あたり残高 71万2895円**
〔32億4011万円〕

※左記の額は一般会計及び特別会計の一人あたりの額です。

※地方債(借金)残高には、交付税算入基礎額として後年度に国が負担してくれる額が含まれているため、全てが借金とはなりません。



小林町長 行政報告

県事業・下暮地宮作沢砂防事業は、 平成28年度に工事完成予定

生活協同組合パルシステム山梨と
「災害時における相互協定に関する
協定」を締結

「西桂町の活性化推進」

山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略中間報告にある、基本目標と基本的方向を踏まえた、当町が将来にわたり持続的に発展する社会を実現するための事業提案の審議をしているところであり
ます。
プレミアム付商品券は好評の内に完売となり、現在、子育て応援券の受付を開始したところであり
ます。

「地域防災の推進」

また、福祉灯油券も10月に配布する予定です。
8月12日には、生活協同組合パルシステム山梨と「災害時における相互協力に関する協定」を締結しました。協定の趣旨は、災害発生時又は発生に備え、物資輸送業務ならびに生活情報の収集・提供等、相互協力に基づく体制の構築を図ることとしております。

「国際交流事業の推進」

県事業として実施している下暮地の宮作沢砂防事業は、現在までに流路工下流域、民家付近までの工事が完成し、平成28年度中には全ての事業の完成を見込んでいるとのこと
です。
一石川砂防事業は、住民の安心安全のための事業ですので引き続き早期再開、早期完成を県に要望してまいる所存であります。
倉見下沢（松久保地区）砂防事業は、平成30年度までには工事完成を図っていくとのこと
です。



県事業の砂防工事が進む宮作地区

国・1地域から中学・高校生11名の一行が西桂町でホームステイを行いました。
楽しく有意義な交流となるよう工夫を重ね、ホストファミリーを交えての交流会や西桂町を探索

するアメージング・レースを通じて、国際交流の大切さや楽しさなどを実感し、地域の国際化に貢献し得る人材の育成が図られたものと考えております。

「緑に親しむ空間の形成」

去る8月1日、富士山クリーン作戦の一環として実施いたしました三ツ峠登山道及び三ツ峠グリーンセンター周辺清掃活動には、町議会をはじめ下暮地区やきれいにする会など、多くの団体から総勢188名のご参加をいただき、心より感謝申

し上げます。今後も地域や各種団体と一体となつて、自然保護や環境美化に取り組んでまいりたいと考えております。

「ふるさと景観の形成」

さくら公園・憩いの森公園及び三ツ峠登山道沿いに住民の皆様が植栽された千本桜であります、



三ツ峠登山道を清掃する多くの参加者の皆さん

桜の成長に伴い、樹間が狭く成長を阻害している箇所が出ており、今年度中に伐採木の洗い出しを行い、オーナーへの説明や広報等で十分なお知らせをした後に伐採と植樹等を行い適正な管理に努めます。

「観光の振興」

ふるさと夏まつりは、西桂町の観光や産業の振興と町民の生涯学習の成果を多くの人々に発表する機会としての目的を持つて開催したわけですが、今後も夏祭りを通じてふるさと西桂の情報発信を図り、町民の連帯感と今後の町づくり推進機運が醸成されるよう、町民参加をいただき取り組んでまいりたいと考えております。

「防犯活動の推進」

町内防犯灯のLED灯への交換事業は、改めて実数調査をしたところ、

総数にかなりの誤差が生じていることが判明いたしました。当初からの予定どおり町内全ての防犯灯をLED化する事業を実施してまいる所存であります。

「道路及び橋りょうの整備」

柿園区内の小沼中央線は通学児童をはじめとする歩行者の安全確保を最優先に考慮した歩道整備を施したものであるとともに、大門町桜並木の景観形成拠点でありますので、景観に配慮した町民の皆様との協働による事業推進ができたものと考えております。

「水道・下水道事業の推進」

下水道事業は、小学校体育館前から三叉路までの延長165mの工事は、8月末に発注し、12月末完成予定で工事を進めていく予定であります。ま



小沼中央線の舗装整備完了

「学校教育の推進」

学校において、児童・生徒の進路を選択するためのキャリア教育の支援として、7月17日に中学校、そして一般を対象とした、元女子バレーボ

た、水道事業も、下水道工事に合わせ小学校上線配水管布設替工事を予定しております。

ール日本代表 三屋裕子氏による『人間形成講演会』を開催し、小中学生はもとより、多くの町民の皆様にご参加いただきました。世界を舞台に活躍されたスポーツ選手ならではの経験談を交えたお話は、豊かな人間形成に向け児童生徒の情操教育の充実を図ることができたものと考えております。

平成26年度一般会計決算

9月定例会

9月定例会は平成27年9月11日に招集され、同日に本会議が開催され20日間の会期を決定、この後、会期中に各常任委員会審査会が開催される中、18日、25日及び30日の本会議での採決をもって閉会しました。

町長より条例2件、補正予算4件、決算認定7件、同意4件計17件が、議員より発議1件が提案され、全ての議案が全員賛成にて、原案のとおり可決・認定・同意されました。

一般会計決算

●主な委員質疑、歳入

問 町税が横ばいになっている、人口減少の影響による対策、町税がプラスになる対策は。

町長 人口増対策、町税を増やす対策には全力で取り組むたいと考えています。

問 公営住宅使用料は、基本的には、家賃優先と思うので厳しく徴収すべきでは。

建設水道課長

引き続き誓約書、納付計画書に基づいた納付を指導していきます。

問 ふるさと納税額を高めるために思い切った対策を取ってみてはいかがか。

総務課長 現在業者と打ち合わせをしております。実際、11月には商品を出してくれる企業、事業所に募集をかける運びになっております。

●主な委員質疑、歳出

問 町税は、啓蒙して口座振替を出来るだけ多くいただけるように施策を考えていただきたい。

税務住民課長

常々納税者に対してはお願いしているところですが、今後とも滞納整理と賦課徴収時期に口座振替を強力に進めていきたいと考えております。

問 社協に施設を無料で貸すという事は出来ないか。

町長

社協が介護サービス事業を運営していくにあたってその施設を使っているわけですから当然社協が負担すべきものと基本的には考えています。

社協がなくなれば町も非常に困るわけですから、賃貸料とか運営経費の減額については考えていきたいと思っています。

問 ごみステーションに不燃物の三つのコンテナが置いてあるが、どのように点検、チェックをされているのか。

産業振興課長

なるべくその敷地の邪魔にならないところにと指導はしておりますが、業者の方に指導を徹底いたします。

問 有害鳥獣駆除の件、

シルバー人材センターを活用して山と里の境目にきれいなところがあれば多少は効果があるのでは

産業振興課長

広範囲になりますし、なかなか進まない状況になっていきます。個人の所有地ということで、農業委員会等と話をする中で指導等ができればと考えています。

問

ふるさと夏まつりの



小学1年生初めての総合防災訓練参加

歳入総額 21億 774万円
 歳出総額 19億8568万円
 差引き額 1 億2206万円



ふるさと夏まつりの風物詩 ナイアガラの花火

町予算以外に一般から寄付を募っているが、その金額も全部花火の代金としていただきたい。

町長 夏まつりの取り組みのかたちがどんどん変わってくると思いますのでよりよい夏まつりが出来るように検討します。

問 今回一路線で二つの工事を行った例があり、非常に住民が混乱したので極力一路線で一箇所ずつ行うようお願いしたい。

建設水道課長 下水道工事が長期の工期があつたのでたまたま重なつてしまいましたが次回からはそういうことも勘案しながら出来るだけ工期をずらせるようなかたちで町民の皆様迷惑をかけるようにしたいです。

問 公園施設管理事業を、町内業者又は町内の積雪時の雪かきをしていただく業者に限定して、地元の活性化を図ってみたい。

建設水道課長 桂川公園等の除草の委託を町内の方にやっていたいただいたケ

ースもあり、今後も引き続き町民の方々に出来る限り発注していきたいと考えています。

問 柿園の郷土地域周辺は防災無線が聞こえないという苦情があり、調査してもらいたい。

総務課長 パンザマストが1基あり、カバーしているはずですが、現状をもう一度把握して検討していきます。

問 女性消防隊を27年度を目途に組織化していただきたい。

町長 女性消防隊の組織化については町の職員を中心に組織化し、その他地域の女性の団体及び地域の方々から応募を募りたいと考えています。

意見 中学生が町の防災訓練で活躍したことについて、校長先生はじめ、中学校の生徒さんに感謝しなくてはいけないと感じている。

問 国際交流事業の環太平洋キャンプ西桂ホームステイの全員で楽しむ、全員で迎えるというよう

な雰囲気のほうが有意義だなと感じた。創意工夫する必要があるのでは。

教育長 実行委員会の方へ投げかけて出来るかどうかは検討していただくようにいたします。

問 大雨の時には、桂川の水が土手を越さないように何とか県の方へ積極的にアプローチしていただきたい。

町長 今回あのように増水した原因というのは結局山中湖、忍野、富士吉田の雨が大量に降つたため下流域に流れてきてという感じはいたしました。先日県の総務部の理事が見えたときにその状況を詳細に説明し、次に富士東部建設事務所の方へきちんとお願いをしていくつもりであります。

いずれにしても常総市のような想定外なんて言うてはいただけませんので、雨量は増すばかりと考えて対応した方がいい気持ちで私もおりますので県へ要請していきたいと思っています。

平成26年度 6特別会計決算

国民健康保険特別会計決算

●主な委員質疑

問 不納欠損額が525万円あります。国民健康保険税の中で大口が2件というもので349万円というものがあるようだが、この辺のところはなぜこうなのか。

〔税務住民課長〕

国保税について徴収が出来ない複数年滞納者が多く存在します。当然、差し押さえておりますので競売等の配当金があればいいのですが、ない方がほとんどでした。



アクティブクラス健康体操

その方についてここ3年ほど前から執行停止という措置をとっています。これが3年たちますと不納欠損処理というかたちになっております。

問 この場合の国民保険証はどのような対応をしているのか。

〔税務住民課長〕

国保短期証を発行する世帯は、平成27年3月末で45世帯となります。その内短期証交付世帯が20世帯、48名です。

問 国保県制度への移管に向けての広域化が非常に重要になってくると思うが、広域化に向けて対策をどのように取っていくのか。

〔税務住民課長〕

被保険者にとつてはスムーズに同じような制度として受け取られるような形で移行できるように広域化に向けて準備をしております。

問 非常に国保税の税負担が高いと町民の声を聞くが均等割が平等割を減額することはできないか。

〔税務住民課長〕

一般的に

は国保の場合には医療費の支払いに左右されるため、安心して運営は出来

ないという状況であり、大変厳しいと考えています。

介護保険特別会計決算

●主な委員質疑

問 町内外の居宅サービスの利用状況ということと社協のデイサービスを利用している人、町外の施設等でデイサービスを利用している人の状況は。

〔福祉保健課長〕

社協のデイサービスを利用して利用している人が居宅介護の利用状況で、今年27年3月末現在で30人デイサービスを利用してあります。その内町内が25人、町外が5人ということです。町外の利用につきましては居宅介護、当町の利用者が100人おりますのでその内の76人は町外の居宅サービスを利用してあります。

問 対象者が101名で25%が町内ということなので75%の町外の利用者の人々を町内へ誘導し

なければいけないと思う。そこに対する対策は。

〔福祉保健課長〕

今の社協の受け入れが30人となっております。9月1日から社協と福祉の方でそういうことも踏まえながら今後どうして行くかという研究会を開催しております。

問 家族の事情でショートステイが出来ないかというお話を町民の方から聞いている。

社協の環境の中でショートステイが出来る環境が無い限りそういう方々は町外へ行かざるを得ないということになるので、頑張っていたきたい。

〔福祉保健課長〕

ショートステイに関してはいろいろな人員的なもの、ショートステイをする為の施設整備等の関係もあり

平成26年度6会計決算額

全員賛成

会 計 名	歳 入 総 額	歳 出 総 額	平成27年度へ繰り越す財源	実 質 収 支 額 (実際残る金額)
国民健康保険特別会計	4億8074万円	4億5775万円	0円	2299万円
後期高齢者医療特別会計	7054万円	7053万円	0円	1万円
介護保険特別会計	3億5319万円	3億 598万円	0円	4721万円
介護予防支援事業特別会計	55万円	51万円	0円	4万円
簡易水道特別会計	7197万円	6930万円	0円	267万円
下水道特別会計	1億8017万円	1億7756万円	0円	261万円
合 計	11億5716万円	10億8163万円	0円	7553万円

(1万円未満四捨五入)

ますので社協と打ち合わせをしていきたい。

問 現状西桂町の介護保険料というのは県内レベルでどのようなポジションにあるのか。

福祉保健課長 全体から見ると平均より下の方になっております。アンケートの中でも出来るだけ介護保険を上げてほしくないというような調査結果が多かったので、上げないようなかたちでと考

えています。

問 地域密着型デイサービス、施設介護サービスを受けた方は、1割の金額を支払えば受けられるか。

福祉保健課長 地域密着型介護サービス給付経費の方は町の方で支払っておりますので、これは9割分がここに計上されております。その家庭の課税状況に依りまして1割負担していただくことになります。

介護予防支援事業特別会計決算

●主な委員質疑

問 自治体が行うということで地域包括支援センターで行なっているということだと思うが、掛かりつけの医者または開業医が該当するので申請したらどうかというようなアドバイスがあつて申請するのか。

福祉保健課長 医者の方から直接申請を促すことはありますが通常はうちの保健師、職員がその

家庭に行つて調査をしてきた中で、区分を判定する為の状況調査をし、町のシステムの方に入力したものを当町にその審査会の組織がありませんので富士北麓の4市町村で構成する審査会の方に資料を提供して区分の判定をしていただくような現状になっております。

問 最初の段階は自発的にお願いするということが。

福祉保健係長

一番多いのが医者からの薦めが多いです。あとは家族がちよつとうちの親の様子がおかしいとかそういう気付きです。また、近所の民生委員が教えてくれるケースもありますので、いろいろな人の気付きによつていきいきセンターの方へ連絡が来るのが多いです。

簡易水道特別会計決算

●主な委員質疑

意見 機械設備、工事等により、積立金も必要ではないかと考えているので基金設置について、条例等を含めた検討を。

意見 平成28年度は水道料金の見直し時期ですが見送るとの事。特別会計の健全な会計運営に努め

下水道特別会計決算

●主な委員質疑

意見 収入未済額減については、水道特別会計同様努力していることが伺える。今後も縮減に向けた不断的努力をお願いしたい。

意見 桂川流域下水道維

持負担金が下水道利用者の負担する下水道使用料を大きく上回っている。環境改善などのメリットもあるので接続率を向上させ、未接続住民に対する周知徹底を図っていただきたい。

平成27年度一般会計補正予算(第3号)

●主な委員質疑

問 桂川公園に設置予定の防犯カメラは1秒あたり1コマから30コマまでの設定があるようだが、町ではどの設定を採用するのか。また、1秒あたり1コマの場合、録画期限が過ぎた以前の画像はどうなるのか。

建設水道課長 1秒あたり何コマの設定にするかはデモを見て判断予定なので現時点では何とも言えません。画像は録画期限を過ぎると上書きされていきます。

問 桂川公園以外の公園等にも設置をお願いしたい。

建設水道課長 他の公園にも防犯カメラの設置をとのご提言ありがとうございます。

今回は、トイレが見渡せる歩道沿いに設置を予定しています。

総務課長 防災上の観点

から雨量計を新規設置予定です。河川の確認の關係から、雨量計と同時に桂川公園内にもう1台防犯カメラの設置を予定しております。

また、農村公園にも設置を検討していきたいと考えております。

問 道路維持費の三ツ峠線拡幅工事の追加の概要は。

建設水道課長 当初計上しました町道三ツ峠線沿いの1.3m拡幅に加えて地権者要望により道との境界に境界ブロックの設置と小沼農道側への階段設置費を追加計上しました。

問 国民年金保険料の免除猶予申請の現状を教えてください。

税務住民課長 窓口で審査を行い、主に非自発的失業者(リストラ等)に申請を促しています。

問 台風18号の際、河川

や用水路に近づくかのようにとの防災無線の後で児童が増水している桂川沿いの通学路を通学していた。災害時や危険時の通学路の設定はどのように考えているのか。

教育長 9日には午前6時に学校長と協議を行い、通学路に教員が付くという条件で普通登校を許可しました。

問 県道の一部供用開始等により、小沼中央線の通行車両は著しく減少している。今回のような災害時などは小沼中央線を通学させたほうが安全ではないか。

教育長 通学路の変更にについて、県道富士吉田西桂線の通学路としての使用等も合わせて今後検討していきたいと思っています。

平成27年度一般会計補正予算(第4号)

委員会審査結果

●主な委員質疑

問 今回の地籍調査の修正には、行政において何も問題がなかった訳でないの今後はいったい実施してほしい。

町長 各種事業において、職員に対して十分指示を出して事業を進めていきます。

問 倉見地区の地籍調査の結果は、今後は、大丈夫ですか。

建設水道課長 倉見区に

おいては、平成3年の台風被害の工事の際に地籍を確認し、問題がなかったのを確認は言えないが、大丈夫と考えています。

意見 倉見松久保の砂防事業は、20年以上にわたる悲願であり、災害に強いまちづくりを進めるようお願いしたい。



地籍調査の再調査を行う松久保砂防工事用地

9月定例会・条例改正

賛成全員

条 例 名	主な内容
個人情報保護条例の一部改正	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、所要の改正が必要がある。
手数料条例の一部改正	上記の法律の制定を考慮して、通知カード及び個人カードの再交付手数料を定めるとともに住民基本台帳法の改正に伴い住民基本台帳カードの交付手数料を廃止する必要がある。

平成27年度補正予算額

賛成全員

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
平成27年度一般会計補正予算(第3号)	1147万円	23億4932万円
○歳入 国民年金事務費交付金64万円増額、個人番号カード交付事務費補助金14万円増額、繰越金1069万円増額		
○歳出 番号カード裏書印字システム費92万円増額、国民年金システム改修費64万円増額、介護保険特別会計繰出金61万円増額、農道維持補修費324万円増額、町道拡幅工事等360万円増額、桂川公園防犯灯等設置工事等75万円増額		
平成27年度一般会計補正予算(第4号)	1000万円	23億5932万円
○歳入 繰越金1000万円増額		
○歳出 地籍調査結果修正登記委託料1000万円増額		
平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	92万円	5億2393万円
○歳入 退職者被保険者等医療費交付金91万円増額、繰越金1万円増額		
○歳出 退職者被保険者等療養費保険者負担金73万円増額、退職者被保険者等高額療養費支給負担金18万円増額、退職被保険者等償還金1万円増額		
平成27年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	548万円	3億6096万円
○歳入 第1号被保険者介護保険料61万円減額、保険給付費交付金132万円増額、一般会計繰入金61万円増額、繰越金415万円増額		
○歳出 国庫支出金等償還金548万円増額		

(1万円未満四捨五入)

議会に届いた請願書と処理状況

賛成全員

下記請願は採択と決し、平成27年9月30日付けにて、請願の趣旨に基づき関係機関に意見書を提出いたしました。

件 名	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書
請 願 者	南都留地区PTA協議会、南都留地区公立小中学校長会、南都留地区公立小中学校教頭会、山梨県教職員組合南都留支部
請願の要旨	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充が図られるよう、国の関係機関に意見書を提出すること



荒井義光 委員(上町)

監査委員



森川不二男 委員(下暮地)



渡邊光男 委員(本町)



定月秋雄 委員(柿園)

教育委員会委員





一般質問

郷田和美 議員

問 地方版総合戦略の進捗状況は

答 全庁体制で当町の特色や資源を生かした計画を進める

郷田議員

地方創生は各自自治体にとりましても最優先課題である。国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や創生法第2条による基本理念等を基に、当町における人口減少と地域経済縮小の克服、本町の特性を生かした地域資源の活用等、人を招き稼ぐための事業構想力を高め、住民と一体となり策定事業に取り組んでいると思うが、現在の進捗状況と策定に向けたプロセスは。

町長

基本的な考え方は、平成32年度を目標とする第5次長期総合計画の将来像、「人が輝く、地域が輝くまち にしかつら」を指すため、重点施策であります23の施策をベースに、今年度実施している、前期5年間の検証及び後期5年計画策定のための、8月に実施した職員からの進捗状況、施策のヒヤリングを現在取りまとめています。

今後は、10月中旬を目処に、18

歳から39歳の約600人に意識調査を実施するとともに、町内事業所等に勤務する町外者に対する意識調査を実施し、11月には、第5次長期総合計画と調整を図り、12月議会で骨格を確定し、年度内の計画策定に向けて事務を進めております。

国の総合戦略の基本的な考え方は、人口減少と、もう一つ、地域経済の縮小を克服することに加えて、まち・ひと・しごとの創生を好循環として確立していく、それを指すものとしております。

移住定住対策や三世代同居、近居支援、販路開拓支援、土曜学習等の少子化対策など、継続性のある事業展開となるよう全庁体制で多くの町民の意見をいただき当町の特色や資源を生かした計画となるよう進めたいと考えており、町民総動員で新たなまちづくりを踏み出す地域づくりが、独自性だと考えております。

問 富士山噴火に備えた本町住民の避難計画は

答 年度内に避難計画を策定する予定

郷田議員

当町はレベル4Bとされ、想定現象としては火砕流、噴石による被害の可能性はほとんどなく、溶岩流による被害の可能性は低い。ただ積雪時は融雪型火山泥流による被害の恐れがあり、噴火時には帰宅が困難になることがあるとされている。当町指定避難場所は小・中学校、保育所、YLO会館、いきいき健康福祉センターが指定されている。また広域避難者の受け入れにかかる基本事項では、当町は

東部地域への避難となっており、県が定めるとしている。昨年の御嶽山噴火では、前兆現象も公表されておらず大きな被害となつた。近年は地震災害・噴火災害が多発しており現在も桜島噴火が懸念されている。

噴火災害はその発生や規模の予測は難しく、対策に困難を極めるところだが、忘れた頃に恐れることはないが、あの東日

本大震災の経験を経てあらゆる事態を想定し、日頃から災害に備える努力をしていくことが重要。富士山噴火災害に備えた当町の避難計画は。

町長

富士山噴火の際の避難計画については、噴火時に避難が必要となる富士北麓7市町村の住民の避難先となる県内20市町村の避難所数や収容可能数について調査を実施しており、年度内に避難計画を策定する予定となっております。

県広域避難計画を受け避難対象地区、避難経路、避難手段を具体的かつ実践的な避難計画を富士山火山防災対策協議会、県及び関係機関と連携を図り策定し、異常現象、噴火の見通しに関する適切な指導・助言等を受け、避難勧告等の避難に関する情報を的確に伝達できるよう、対応してまいります。



一般質問

小山正則 議員

問

西桂町第5次長期総合計画の現時点での
評価・検証の状況は

答

前期の進捗状況を確認し、
策定作業を進める
後期計画、

小山議員

当町では、平成23年3月定例町議会において、西桂町第5次長期総合計画の基本構想が全会一致で可決された。

町では町民の皆様がまちへの愛着と誇りを持ち、いつまでも住み続けたいと思えるよう、「子どもから高齢者まで、誰もが笑顔で暮らせるまち」、「ふれあいと語らいのあるまち」、「みんなが支えあうまち」、そのような「魅力あるまち」となるよう「豊かな心を育むひとづくり」、「地域の魅力が輝くまちづくり」、「参画と協働によるまちづくり」の3つを基本的な考え方とし、まちづくりの将来像「人が輝く、地域が輝くまちにしかつら」の実現に向け取り組んでいるとのこと。

また、平成24年度からは、その歩みをより着実なものとするため、3年ごとの具体的な実施計画を策定し、実施状況を勘案しながら毎年度見直しを行う中で、より効果的かつ実践的に進めていきたいと考えており、町民の皆様と将来の姿を共有し、ともに知恵を出し合い、手を携えて行動し、10年後の西桂町が今よりもさらに輝いたまちとなるよう頑張つてまいりますとのことだ。

計画には「評価と検証」が必要であり、町当局においても当然実施されていることと思うが、最終的な評価・検証はまだ先のことと思われるが、現時点での評価・検証の状況をお示し願いたい。

町長

「西桂町第5次長期総合計画の現時点での評価・検証状況」についてであります。西桂町では、平成23年3月に目標年度を平成32年度とした第5次長期総合計画を策定し、5年を経過

する前期計画の進捗状況を確認し、後期計画の修正、策定作業を進めております。

進捗状況の確認は、各担当課より資料の提出及びヒヤリングを実施し、前期基本計画で計画した、23事業の進捗状況を、「継続」、「完了」、「完了・継続」、「未着手」、「中止」の5つの視点で整理しております。

「継続」は、教育・文化、保健・福祉、産業振興、都市基盤整備、環境保全、防災・安全、行政運営など、基本的な行政サービスに関わるものになっております。

「完了」は、国の制度改正などにより対応が変わる「子宮頸がんワクチン接種事業」や「次世代育成支援法」から「子ども子育て支援法」に変更となった次世代育成関係事業などです。

また、「完了・継続」は、男女共同参画など、予定どおり第2次計画の見直しが完了し、新し

い計画での推進を進めている事業となっております。

なお、「未着手」、「中止」は、次世代育成支援法から子ども子育て支援法に制度変更され、対応すべきサービスメニューの変化が著しい児童福祉関係のものとなっております。

今後は、今回行った進捗状況と毎年行っている事務事業評価、町民アンケート結果及び職員からの提案をまとめ、12月議会、骨子の承認を経て「人が輝く、地域が輝くまち」にしかつら」の将来像を達成するべく後期計画を策定してまいります。

小山議員

長期総合計画は5年を経過し、前期計画の確認、後期計画の修正、策定作業を進めているとのことだが、長期総合計画は、この町の行く末を見据えた、中・長期的な具体策であり、この計画を着実に実践し成果を上げることが「人が輝く、地域が輝くまちにしかつら」の将来像達成に必要不可欠であると認識している。町長には、常に先頭に立ち、強いリーダーシップを発揮し目標必達のため、ご精進されることを期待している。



一般質問

瀧口幸男 議員

問

人口減少の今後の対策として、どのような施策を展開するのか

答

まちの将来像を達成するべく「後期計画」「地方版総合戦略」を策定

瀧口議員

動き出している地方創生については、最大のポイントは次の3つあると思う。

①若い世代の結婚、出産、子育て、経済の希望を叶える支援。

②若い世代の経済的、安定的な支援。

③妊娠、出産、子育てへの切れ目のない継続的な支援。

人口減少の今後の対策として、どのような施策を展開していくのか。

町長

昨年度策定した西桂町子ども・子育て支援計画の基本理念、「ふれあいとたすけあいで育む安心の子育て環境のまちにしかつら」の4つの基本施策と調整を図り、人口減少へ歯止めをかけるべく、当町の特色や資源を生かした施策を、現在作成

中の地方総合戦略で事業化を進めてまいります。

さまざまな場面において参加と協働を推進し、誰もが住みやすく住み続けたいと考える魅力あるまちづくりを進めていくことが必要であると考えています。

まちの将来像を達成するべく「後期計画」「地方版総合戦略」を策定してまいります。

このまま抜本的な対策を採らなければ、当町の人口はいまから45年後の平成72年に2,482人程度まで減ってしまう推計を国立社会保障・人口問題研究所が発表しており、この流れを押しとどめ、将来にわたって活力あるまちを維持する計画を作成しなければならないと思っています。

問

障害児に対して窓口無料化医療制度を今後実施する考えは

答

近隣市町村等とも情報交換をする中で、障害児に対する支援のあり方を熟慮

瀧口議員

当町では、子ども医療費助成制度やひとり親家庭医療制度などは、窓口無料化となっており、財政厳しい中ではあるが実施されている。

特に15歳未満の障害児については、健常者と同じ町単独の子ども医療制度に組み入れるよう近隣市町村長とも協議をするなど創意工夫して、重度心身障害者医療費の障害児に対して窓口無料化制度を今後実施する考えは。

町長

国のペナリティに要する県、市町村の負担を解消する目的で、重度心身障害者医療費助成制度における自動還付方式が平成26年度11月よりスタートしています。

この制度は、障害がある限り、年齢を問わず障害者の保健の向

上に寄与し、福祉の増進を図るための制度でもあります。

現在の自動還付方式や貸付制度は、保護者や支援団体、医療機関、市町村が手間のかかる手続きを支援して制度を維持していますが、一旦窓口で支払うこととなることから、手続きや金銭の負担が生じることに変わりはなく、公平であるとは言いがけないものと考えております。

しかし、これは単独の自治体で取り組む問題ではなく、市町村が連携して対応すべきものであり、私としてもそのように努力して参りたいと考えております。

町では近隣市町村等とも情報交換をする中で、障害児に対する支援の在り方を熟慮していきたいと考えます。



一般質問

榎田則夫 議員

問

防災、景観の観点から森林伐採に対する今後の対応は

答

水源の涵養、災害の防止、土壌の保全等を行政指導する

榎田議員

現在、森林で大きな伐採事業が行われており、現場を見ると、傾斜地の山肌が大きく露出し、豪雨の場合の土砂崩れ等、大きな危険がはらんでいるものと感じられる。

防災、景観の観点から鑑み、今後の森林伐採に対し、森林整備計画に基づいて、どのように対応していくのか。

町長

森林整備計画では、立木の伐採前に森林所有者等が「伐採及び伐採後の造林の届出書」を提出することを義務付けており、町は森林整備計画に適合しているか確認し適合通知書を発出しています。

また、伐採現場では伐採方法により山肌の露出もあるわけですが、事業完了後に、届出書に記載の天然更新や人工造林等が計



許可を得て森林伐採が進む三ツ峠山

画どおり行われ、水源の涵養、災害の防止、土壌の保全等の機能が図れるよう県とも協力しながら指導をしてまいります。

問

小中一貫教育を実施する考え方と今後の取り組みは

答

小中連携教育に保育所を加えた「保小中連携教育」を推進

榎田議員

本年6月に国会で改正学校教育法が成立し、市区町村教育委員会などの判断で既存の小中学校などを義務教育学校に出来るようになる。

西桂町の場合は、小学校、中学校が一校しかなく、しかも保育所から考えると長いスパンでの教育ができ、中一ギャップの解消や、教育内容の充実が期待できると考える。

一貫教育を実施する義務教育学校に対する教育委員会の考え方と今後の取り組みは。

教育長

当町の現状では、ほとんどの子供たちが保育所・小学校・中学校へと進学するため小中一貫教育の成果であると言われていきます「中一ギャップ」の解消や小学校へ入学した際に学校生活へ馴染めない「小一プログラム」などは、ほとんどないものと考えています。

当町では、しばらくの間は、小中連携教育に保育所を加えた「保小中連携教育」を推進してまいりたいと考えています。



一般質問

井上秀樹 議員

問

下水道事業の今後の普及見通しは

答

国費の動向を見ながら順次整備を進める

井上議員

西桂町で下水道の供用を平成16年4月に開始をして11年経ち、3月末現在普及率が50・7%になったが近年工事の進捗状況が鈍化しているが下水道事業の今後の普及見通しは。

下水道に接続しない世帯では1立方メートルあたり60円の水道代に対して接続している世帯では60円の水道代プラス95円の水道料を支払っている。

接続世帯は未接続世帯の2・58倍の料金を支払っており、町内の下水工事が完了するまで続くため、接続世帯に不公平感を生んでいると思われる。

接続世帯に接続還付金等による不公平解消の対策の考えは。

町長

当初の整備計画では124・7ha、最終年度は、平成32年度です。

本年度末時点、66・6haの進捗状況であり、整備の進捗状況が低い要因は、国費の減少に伴い事業量が年々縮小しております。

平成28年度以降の事業計画は、第2処理分区(本町・上町地区)の未整備部分、上町の池ノ頭地域までの事業を平成32年度までに実施する計画となっており、国道周辺地域や下暮地河原地区などは、平成32年度までに事業執行できない見込みであります。

全国的にも当町同様に下水道整備が進捗していない状況から、国では、全国の自治体に対し、効率的かつ適正な整備手法を選定させるため、下水道以外の処理施設を含めた汚水処理施設整備構想(アクションプラン)の策定を義務付けており現在、策定に向けた調査業務を進めております。

次に、下水道接続世帯の使用

料に対する不公平感解消対策については、ご指摘のように早期に接続された方が不公平感を感じておられるという中、町として、より一層経営の効率化と経費削減に努めるとともに、事業の収支の均衡を考慮しながら、受益に応じた料金水準や料金体系のあり方について検討を進めていきますので、今後も水道事業、下水道事業にご理解とご協力を願います。

接続世帯に接続還付金等の不公平解消の対策は、下水道受益者以外の町民の皆様からの税金を投入していることを考慮しますと、その補填のためにさらに税金を投入しなければならなくなり、逆に下水道受益者以外の町民の皆様からの不公平感に繋がりが、特定の利用者を対象に減免を行うことは、他の利用者との不均衡が生じるため、実現は難しいと考えています。



下水道工事が進む小学校体育館付近

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。



地域で活躍する団体を訪ねて その62



毎月会うのが楽しみな会員とボランティアの皆さん

訪問先

いきいき交流会 下暮地 鈴の音会

代表：鈴木 孝子

取材日：9月27日
渡辺議員、瀧口議員

問 団体名は。

鈴木さん 下暮地区いきいき交流会鈴の音会です。

問 代表者のお名前は。

鈴木さん 鈴木孝子です。

問 会の活動目的は。

鈴木さん お年寄りの方の寝たきりや引きこもりを防止し、話をして楽しんでいただく会です。

問 活動内容は。

鈴木さん 下暮地公民館を利用して、毎月第4日曜日、午前10時から午後1時まで行っております。会員は、全て女性で13名が参加しています。会を運営するボランティアは16名で、内2名が小学生で大変助かっています。

問 現在、取り組まれていることは。

鈴木さん 毎月違った催しを考え、お花見散歩、楽しいボーリング、健康体操、七夕飾りづくり、ぬりえ・はりえ、生け花など毎月楽しく行っております。

問 今後の目標は。

鈴木さん 女性の参加者



いつまでも健康でいられますように願い楽しく健康体操をされる参加者の皆さん

ばかりですので男性の対象者に来ていただけるように勧誘をしていきたいと考えています。

問 町民や行政、議会に望むことは。

ボランティアの皆さん 色々な催しを計画したいので補助金を増額していただきたい。

訂正

議会だより 85号「地域で活躍する団体を訪ねて」

団体名

「いきいき交流会 上町二葉会」

の誤りでした。

訂正してお詫びいたします。

言ってみたい！

聞かせてよ！

すばらしい晴天の中、 小学校秋季大運動会 を見学しました

取材日：9月19日 渡辺議員



やすたけよしはる
保竹祥陽さん、聡美さん、駿斗くん、
わたなべかずお
渡辺和勇さん、寿子さん、俊輔くん

問 運動会の感想は。
寿子さん お天気によか
った。楽しいです。
問 小学校教育の感想は。
聡美さん よく指導して
いただき感謝しています。
問 町に要望することは。
和勇さん 倉見や下暮
地は、危険の場所がある
ので防災に力を入れて
ほしい。明るい町で良い
と思います。



たくさん
入れえー

少し高いけど
初めての玉入れ



まえだともひさ
前田朋久さん、はるみさん、優衣さん
けいと
慶斗くん、融一郎さん、酒井智彦さん、
れのん
えみ子さん、蓮音ちゃん

問 運動会の感想は。
融一郎さん 秋の運動会
に相應しい天気恵まれ
て、父兄の皆さんが多数参
加してよかったです。
問 町に要望することは。
はるみさん 子どもが少
なくて、特に4年生以下が
一クラスです。運動会
の運営等も大変になつて
きていると思います。
少子化対策をお願いします。

さあーみんなで
参加して楽しく
踊りましょう



議会の傍聴をお願いします。

次回定例会は12月中旬です。
詳細は12月4日頃、
ホームページにて公表します。

さとうよしえ しん た さ わ かつ お
佐藤美恵さん、新太くん、沙和ちゃん、勝男さん、
みよこ えまり すぎもと しん かね こ
美代子さん、笑鞠ちゃん、杉本 伸さん、金子さん

問 運動会の感想は。
勝男さん お天気が一番最高よ
かったです。
問 小学校教育の感想は。
美恵さん 先生方が熱心に子供
達に接してくれて感謝していま
す。
問 町に要望することは。
金子さん 夏まつりにも参加し
ましたが町全体で行っており、
とてもよい町と感じて
います。



発行責任者
西桂町議会議員
編集委員長 岩田 裕展
副委員長 渡辺 隆
委員 横田 則夫
委員 井上 秀樹
委員 小山 正則
委員 瀧口 幸男